



難病患者の現状と今後の対応 について

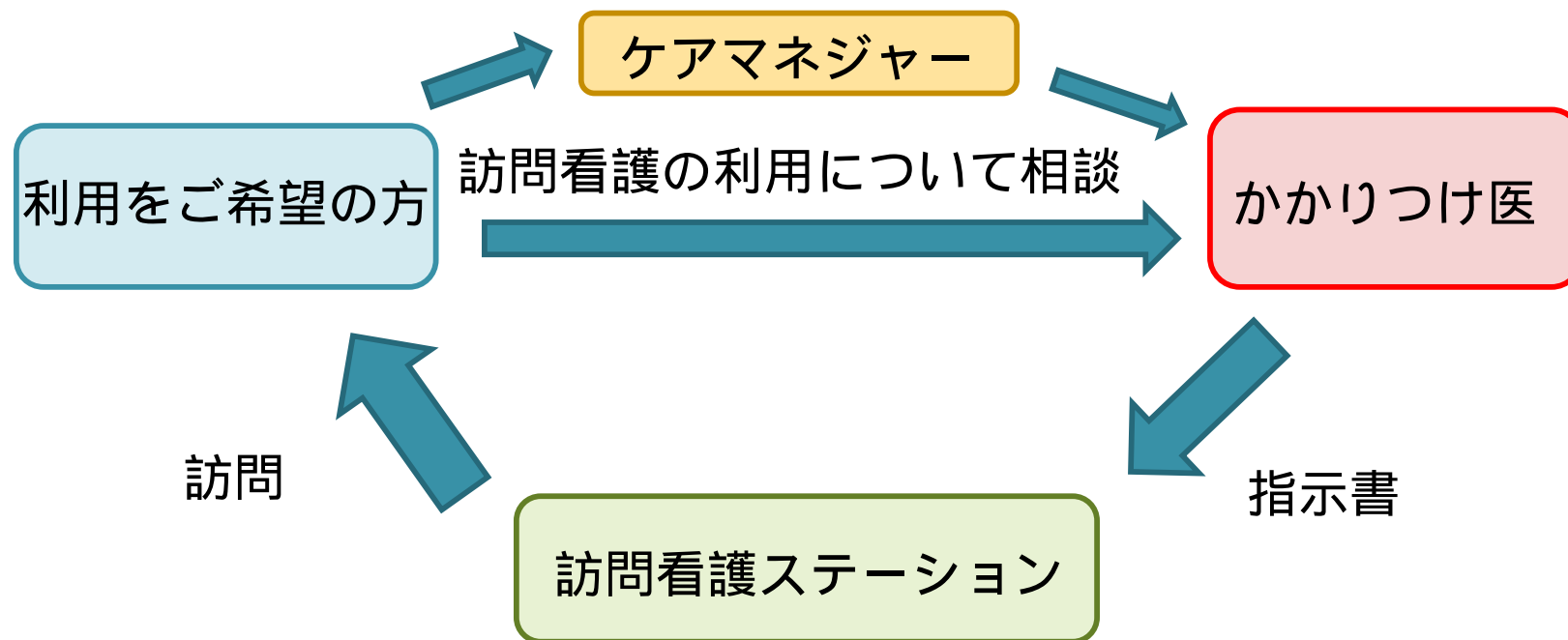
患者・家族を支える立場の訪問看護師より

中野区医師会立
しらさぎ訪問看護ステーション
管理者・訪問看護認定看護師
遠藤 貴栄

会場のみなさん
訪問看護をご存じですか？

訪問看護を利用するには？

- 赤ちゃんからお年寄りまで年齢に関わりなく訪問看護がご利用いただけます。ご利用を希望される際には、かかりつけ医やケアマネージャーにご相談ください。訪問看護ステーションでは、かかりつけ医が交付した「訪問看護指示書」に基づき、必要なサービスを提供します。



参考: 全国訪問看護事業協会ホームページより (<http://www.zenhokan.or.jp/nursing/>)

訪問看護のサービスの内容 (何をしてくれるの)

療養上のお世話 身体の清拭・洗髪・入浴介助・食事や排泄の介助・指導	医師の指示による医療処置 かかりつけ医の指示に基づく医療処置
病状の観察 病気や障害の状態、血圧、体温、脈拍などのチェック	医療機器の管理 在宅酸素、人工呼吸器などの管理
ターミナルケア がん末期や終末期などでも、自宅で過ごせるような適切なお手伝い	床ずれ予防・処置 床ずれ防止の工夫や指導、床ずれの手当て
在宅でのリハビリテーション 拘縮予防や機能の回復・嚥下機能訓練等	認知症ケア 事故防止など、認知症介護の相談・工夫をアドバイス
ご家族等への介護支援・相談 ご家族等への指導ほか、さまざまな相談対応	介護予防 低栄養や運動機能低下を防ぐアドバイス（廃用予防）

当ステーションの難病患者の利用状況

- 当ステーションは、現在110名前後の利用者がいます
- 難病疾患の利用者数は15名前後です。
- 年齢は、20代～70代
- 主な疾患は、パーキンソン病、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、頸髄損傷、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、スモン、進行性筋ジストロフィー症等、です。
- 訪問回数 週1～3回

訪問看護の主なケア内容

- バイタルサインチェック
- 状態観察
- 医療機器の管理
（酸素・呼吸器・吸引・胃ろう等）
- 排痰ケア
- 排便コントロール
- 膀胱洗浄（留置カテーテル）
- リハビリテーション
- その他 保清・家族支援などなど



今後の課題・意見

普通のニーズを満たすための体制作り

- < 連携の必要性 >

医師・歯科医・看護師・介護士・保健師・
薬剤師・行政・福祉用具・地域の力・ボラ
ンティア

- < 医療と介護と行政のつながぎ >

現場での声を、行政に伝えていく役割を感じる。たとえば、貧困のため食費を削り健康が損なわれている、行政や業者との交渉に疲れているなど。

終りに

訪問看護は、まだ皆さんにあまり知られていません。

しかし、医療と福祉と生活を融合してみられるのは訪問看護師です。

訪問看護は、全国に7,500ヶ所くらいあります。在宅生活の継続のため、早期から訪問看護を活用していただきたいと思います。

ご静聴ありがとうございました

